

第5期ふくし未来塾

取り残さない、その小さな声を。 ～シャプラニールの取り組み～

認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会
事務局長 藤岡恵美子

2024年6月撮影

自己紹介

藤岡 恵美子（ふじおか・えみこ）

事務局長

東京生まれ。国際交流基金ジャカルタ日本語センター運営専門員、横浜市男女共同参画推進協会職員、インドでの日本語教師、国際協力NGOセンター（JANIC）職員等を経て、2005年入職

2005年～2009年 バングラデシュ事務所長

2011年2月退職

2011年3月～JANIC震災タスクフォース臨時職員（～2014） 2012年から福島へ

2014年～2021年 NPO法人ふくしま地球市民発信所を立ち上げ活動

2024年2月再び入職 3月末～事務局長

シャプラニールの紹介

シャプラニールとは？

- 創立：1972年（バングラデシュ独立直後に活動開始）
- ベンガル語で「睡蓮の家」
- 活動地域：南アジア（バングラデシュ、ネパール）
- ネパールでは1994年に活動開始

シャプラニールの使命（ミッション）

市民の自発的参加と責任に基づき、南北問題に象徴される現代社会の様々な問題の解決のために必要な海外協力等の諸活動を行い、すべての人びとがもつ豊かな可能性が開花する社会の実現を目指す（定款より）



取り残さない、その小さな声を。

シャプラニールの5つの価値観

1. 援助をしない
2. 自らの解決を促す
3. みんなで考える
4. 現場から学ぶ
5. 誰も取り残さない



シャプラニールの起源



Bangladesh 復興農業奉仕団

1971年に Bangladesh が独立戦争を経てパキスタンから独立。約50名の青年がボランティアとして派遣された。日本企業から寄贈された耕運機を携え、 Bangladesh 各地の農村で活動した。

Help Bangladesh Committee (HBC)

奉仕団の活動を終え帰国したメンバーが中心となり、 Bangladesh への継続した支援活動を行うために立ち上げた。新宿の歩行者天国で寄付を募り、子どもの教育のため、現地で文房具を配った。



さまざまな失敗・紆余曲折

ノートと鉛筆の失敗への反省から・・・

70年代 日本人が村に住み込み活動

77年 駐在事務所が強盗に襲われ駐在員重傷

→現地の住民グループ等の活動を側面支援するスタイルへ

80年代 直接アプローチへの転換

村のグループをシャプラニールの傘下へ

現地スタッフを雇用し村事務所拡大



97年 スタッフのストライキ発生

99～2005年 村事務所を3つの現地NGOとして
独立させる

2000年～ 都市でのストリートチルドレン支援活動開始
(初めての現地NGOとのパートナーシップ)



シャプラニールの組織体制



活動地域

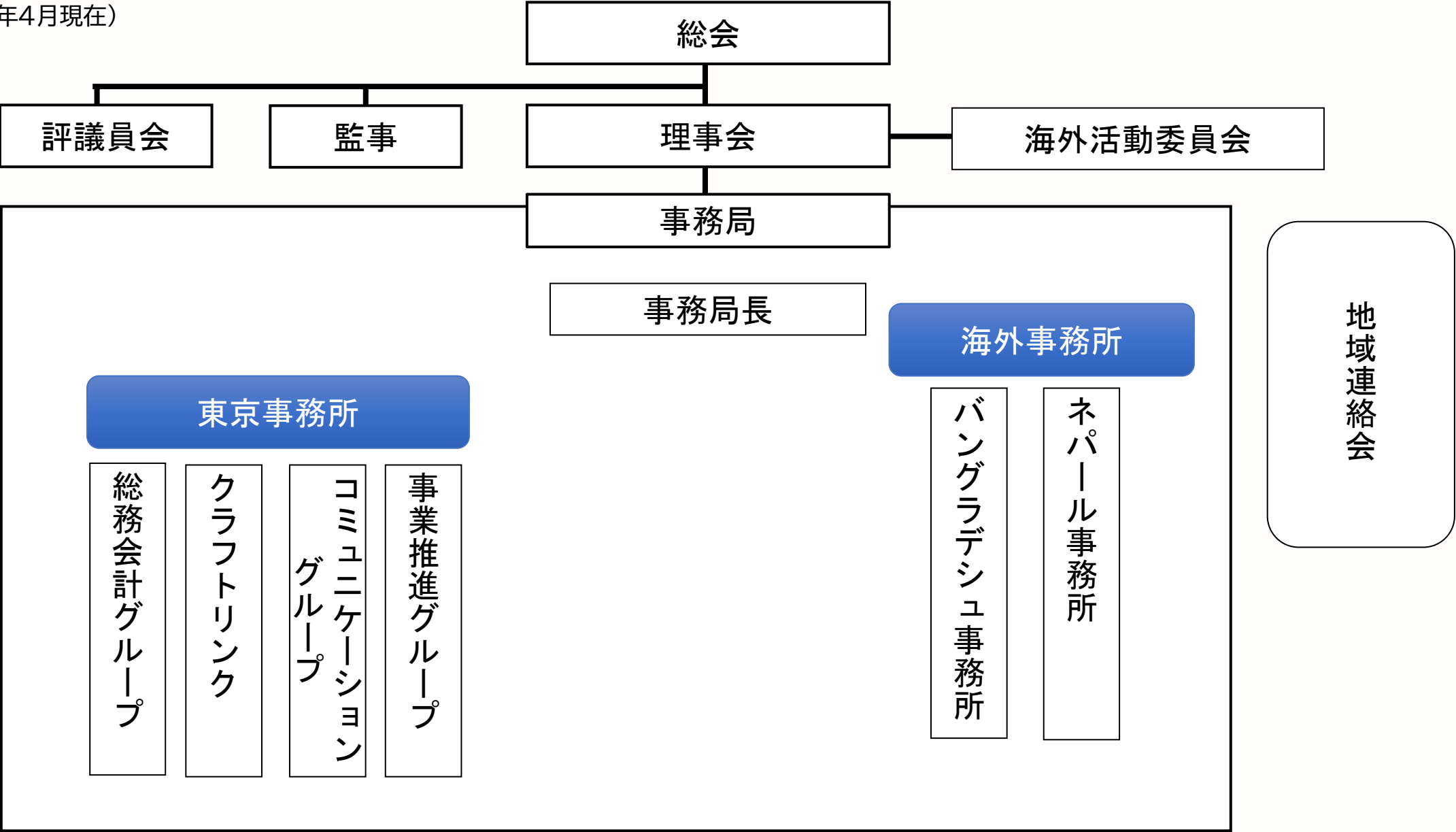
バングラデシュ、ネパール、日本

職員数

バングラデシュ事務所 10名 + 駐在員

ネパール事務所 5名 + 駐在員

東京事務所 15名



私たちが活動する地域



シャプラニールの活動地



バングラデシュ

■人口：約1億7,000万人

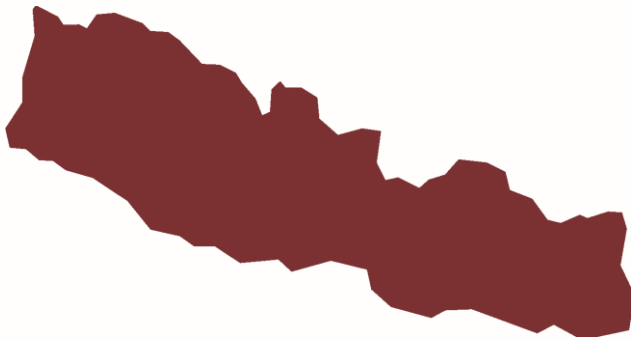
■公用語：ベンガル語



ネパール

■人口：約2,900万人

■公用語：ネパール語



私たちが活動する国々の状況－人間開発指数2022

順位	国名	人間開発指標 (HDI)	平均余命	期待される就学年 数	平均就学年数	一人当たり国民総 所得(GNI)	2021年HDI 順位
1	スイス	0.967	84.3	16.6	13.9	69,433	1
2	ノルウェイ	0.966	83.4	18.6	13.1	69,190	2
3	アイスランド	0.959	82.8	19.1	13.8	54,688	4
	...						
24	日本	0.920	84.8	15.2	13.4	43,644	22
	...						
129	バングラデシュ	0.670	73.7	11.9	7.4	6,511	130
	...						
146	ネパール	0.601	70.5	12.6	4.5	4,026	149
	...						
193	ソマリア	0.380	56.1	7.6	1.9	1,072	..

人間開発指数(Human Development Index, HDI) : 人間開発の3つの側面(健康、知識、生活水準)から各国の達成度を測った指標。

期待される就学年数 : 就学年齢の子どもがその後の生涯を通じて受けると予測される教育の年数

平均就学年数 : 25歳以上の人が教育を受けた年数

国民総所得(Gross National Income, GNI) : 国内で1年間に生み出されたモノやサービスの金額の合計である国内総生産(GDP)に、日本企業などの海外でのもうけや、外国株式・債券への投資による配当・金利収入などを加えた指標

取り残される人々・地域・問題

- 社会的差別を受けている人々
- 遠隔地、交通の便が非常に悪い地域
- その地域で活動するNGOなどの組織がない
- 外から見えにくい、知られていない問題
- 報道されない、データがない
- 気づかれない、盲点になっているニーズ



シャプラニールの支援活動

子どもの
今を支え
明日を守る活動

子ども



災害に強い
地域を
つくる活動

防災



社会からの
孤立を
防ぐ活動

在住外国人



市民同士の
つながりを
促す活動

フェアトレード



子どもの今を支え、明日を守る活動

児童労働のない社会を目指して

バングラデシュ・家事使用人として働く少女の支援活動



家事使用人として働く少女たち

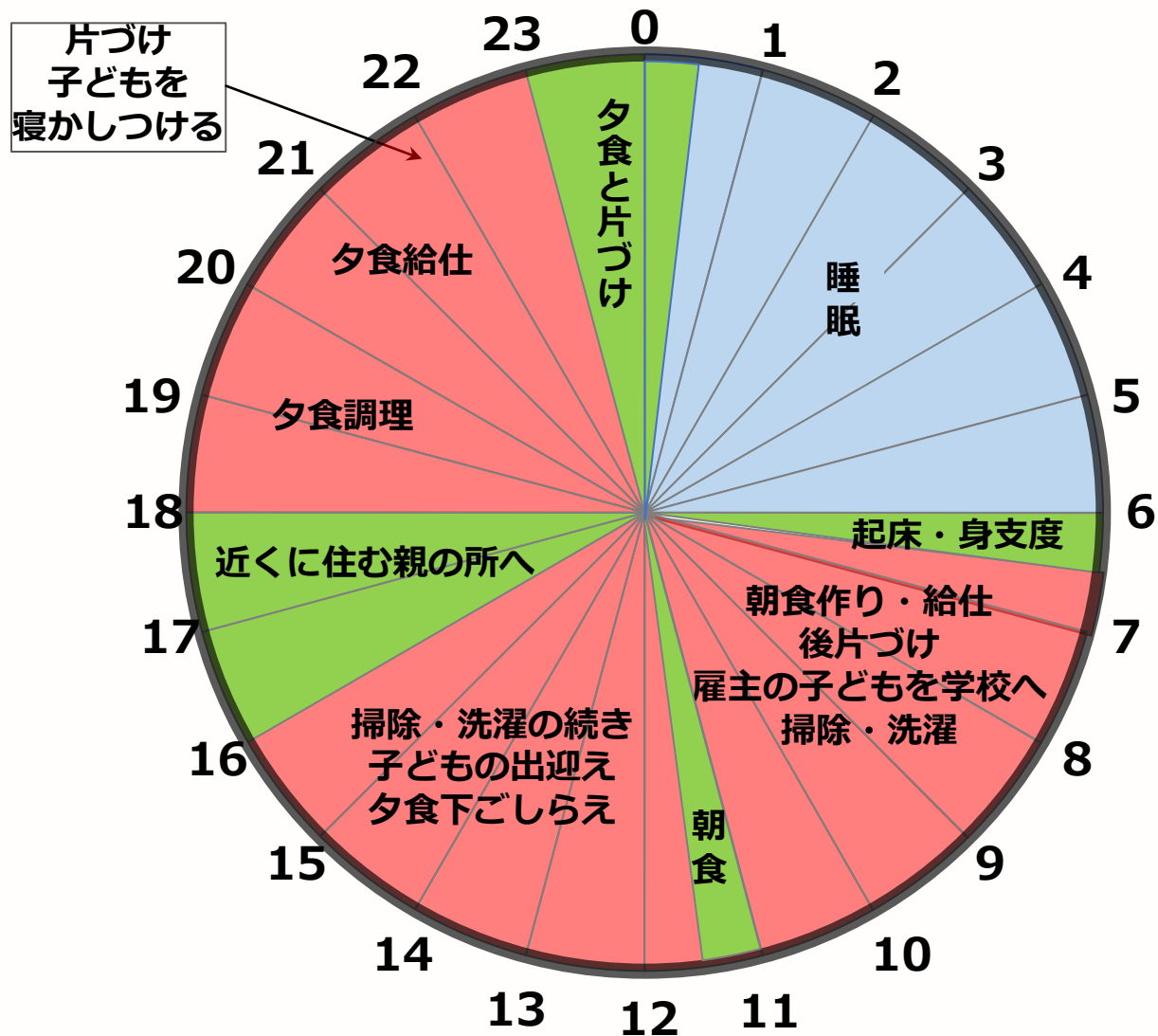
バングラデシュの家事使用人は42万1千人 (ILO 2007年)

そのうち80%が女の子

女の子の78%が14歳未満



サビナちゃん（仮名・11歳）の一日



長時間労働
少ない休み
息抜きの時間がない
教育を受けられる可能性は限りなく低い
低賃金もしくは給与なし
生活面での差別
精神的、身体への暴力

シャプラニールの取り組み

課題：家事使用人として働く少女が数十万人いる。学校へも通っていない。

要因：経済的な貧困／児童労働を容認する社会

プロジェクト目標：子どもの権利が守られる

活動：支援センターの運営（Non-Formal Education、レクリエーション、技術研修など）／雇用主・保護者への子どもの権利に関する啓発活動／行政・社会全体へ向けたアドボカシーキャンペーン など

指標：14歳未満の使用人として働く子どもがいなくなる／家事使用人として働く少女の数が半減する

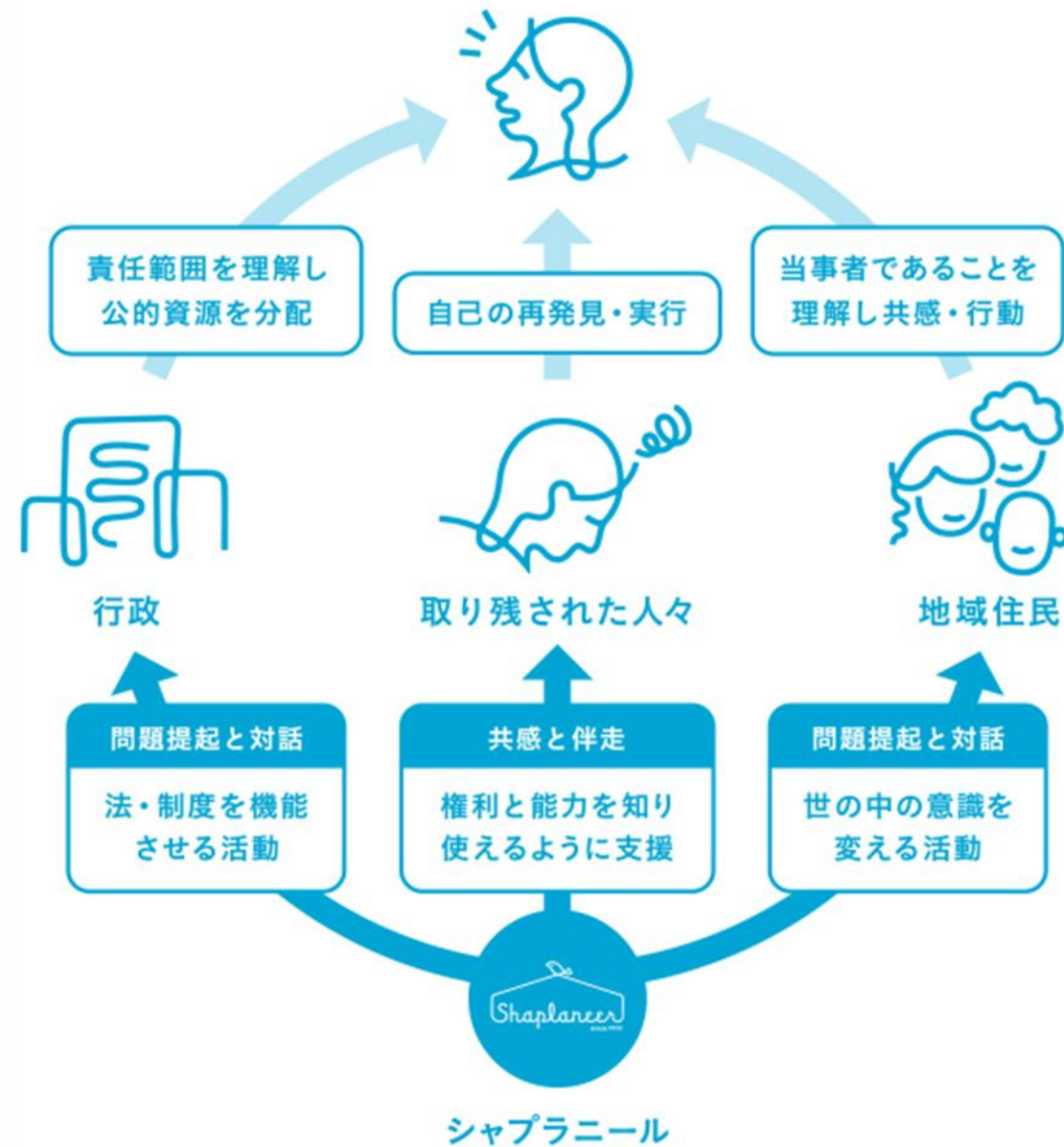


私たちのアプローチ

少女たちへの直接支援
雇用主、保護者の意識変化
地域住民の巻き込み
メディア、NGO、政府の意識変革
農村部の人々への啓発



すべての人が持つ豊かな可能性が開花する社会へ



SHAPLANEER



基礎的教育
(ベンガル語・英語・算数)



ゲームを使った
保健衛生の授業



運動会



住民グループへの研修
(子どもの権利)

政府への働きかけ（アドボカシー）

NGOのネットワークが連携

国会議員、労働雇用省長官、女性子ども省長官へ家事使用人として働く子どもたちを危険な児童労働リストに加えるよう要望

家事使用人保護の法律批准について提言



児童労働に対する世論を変えるためのキャンペーン

同じ問題意識を持つバングラデシュのNGOや国際機関とともにキャンペーンを実施



コミュニティ・ラジオで家事使用人として働く女の子たちにも出演してもらい、現状について伝えるための番組を放送



“আমি একজন কন্যাশিশু গৃহশ্রমিক,
ঝাড়ু নয়,
আমাকে বই দাও”

I am a girl domestic worker.
"Give me a book,
Not a broom"



「ほうきではなく本をください」をスローガンにしたキャンペーン

これまでの成果（2006～2021）

支援センターで学んだ
少女たちの数



支援センターを卒業した
少女たちの数



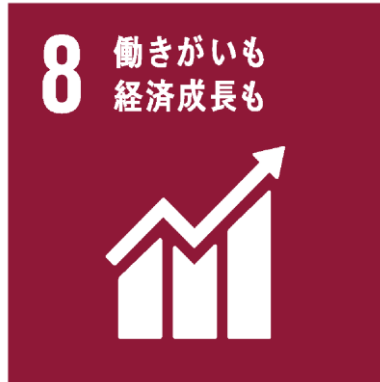
学校に編入することが
できた少女の数



課題

- 家庭というプライベートな空間へのアクセス
- 雇用主の「良いことをしている」という意識を変えることは難しい
- 住み込みで働く少女たちを学校に編入させることの難しさ
- 仕事をやめ学校に通わせるよう保護者を説得することの難しさ
- 地域住民に「自分や社会の問題」と認識してもらうことは簡単ではない
- なくなる暴力
- 問題解決に消極的な政府





ターゲット8.7

2025年までにあらゆる形態の児童労働を撲滅する

指標：児童労働者（5-17歳）の割合と数（性別、年齢別）



ターゲット4.1

2030年までにすべての子どもが無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする

社会での孤立を防ぐ活動

新宿区を拠点とした多文化共生事業

- ・ 在住外国人も地域を構成するメンバーであるという社会全体への意識づくり
- ・ 生活情報へのアクセスの難しさの解消



フードパントリーでの食料配布

- ・ 困窮世帯への支援&コミュニケーション



多文化共生連続講座

- ・ 地域の人びとへ、相互を理解するきっかけづくり



多文化共生コミュニティスペース「マザリナ」開設

- ・ 交流・情報へのアクセスする場。生活講座。

在住外国人が集う新宿区

外国人人口の多い自治体
(2022年)

1	埼玉県川口市	39,028人
2	東京都新宿区	38,739人
3	東京都江戸川区	37,978人
4	東京都足立区	35,038人
5	東京都江東区	32,274人
6	東京都板橋区	27,743人
7	東京都豊島区	27,497人
8	大阪市生野区	27,482人
9	東京都大田区	24,681人
10	東京都北区	23,434人

新宿区の人口 348,809人
(2023年10月)

日本人 305,972人
外国人 42,837人

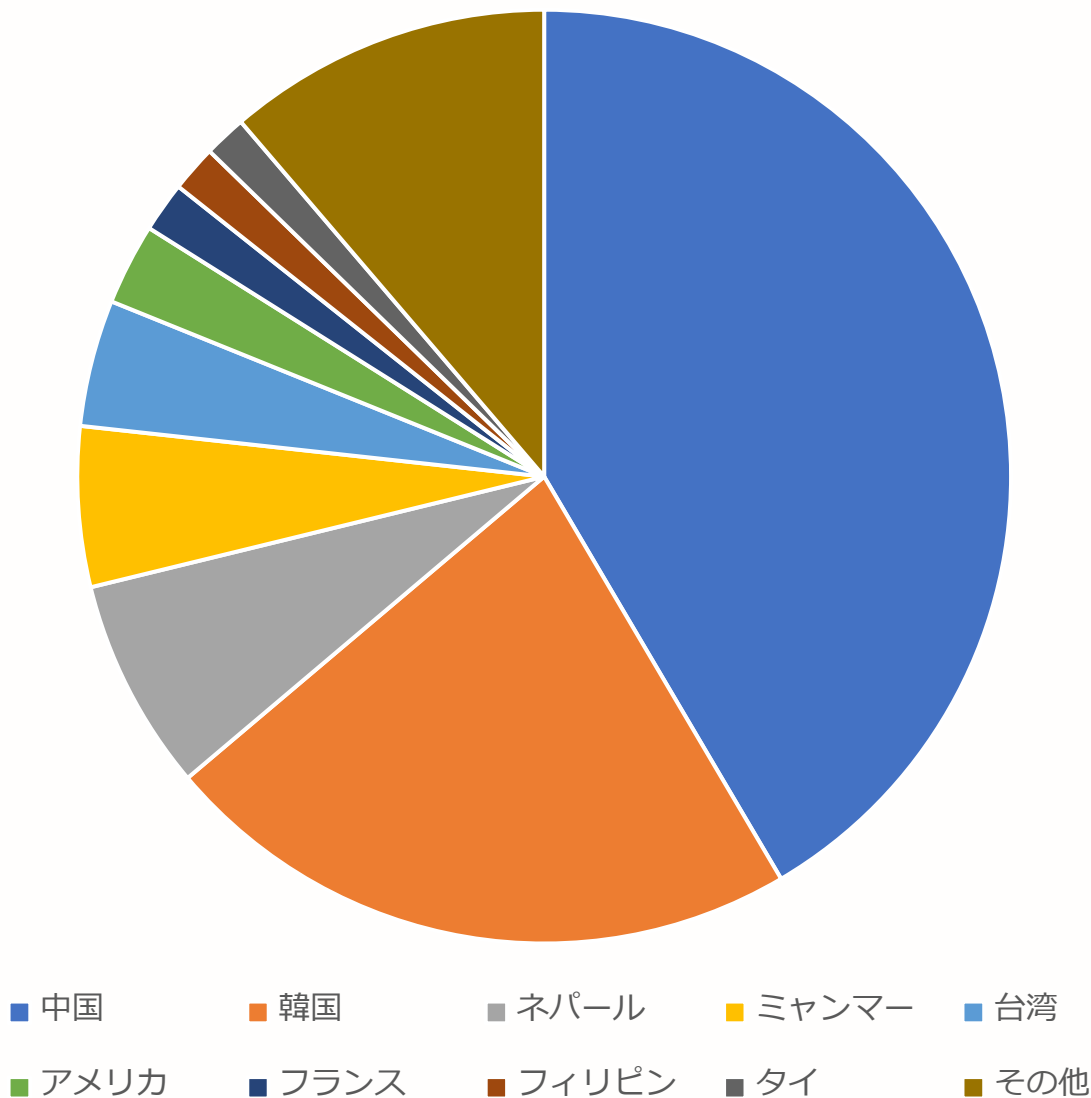
外国人比率 14%

≒30人クラスの4~5人！

2023年10月 日経新聞

在住外国人が集う新宿区

新宿区の国籍別外国人人口（2023/10）



中国	16,837人
韓国	9,044人
ネパール	2,984人
ミャンマー	2,248人
台湾	1,779人

131か国から42,837人
きわめて多国籍、多民族な人口構成

■ 中国 ■ 韓国 ■ ネパール ■ ミャンマー ■ 台湾
■ アメリカ ■ フランス ■ フィリピン ■ タイ ■ その他

多文化共生コミュニティスペース開設



【場所】新大久保駅近レンタルスペース
(新大久保駅徒歩 1分
大久保駅徒歩 2分)

【開設日】第1、第2土曜日
13時半～17時半

- ・日本に住む外国ルーツの方と地域の人々の交流の場
- ・生活相談、各種情報提供、日本語教室
- ・異なる文化について理解を深めるイベントの実施

市民同士のつながりを促す活動

フェアトレード活動（クラフトリンク）



「クラフトリンク」という名前には

“つくる人”と“つかう人”が
つながって、地球を笑顔で
いっぱいになりたい

という願いが込められています。



日々の生活を彩るフェアトレード商品



市民、ボランティアが活動を支えています。

クラフトリンク（フェアトレード）

- 商品の購入
- イベントや学園祭等での販売



ステナイ生活



古本や古切手・書き損じはがきなどを集めて換金、活動資金として役立てる活動

事務所でのボランティア

届いた寄贈品（はがき、切手、商品券、カードなど）の仕分け、カウント など



マンスリーサポーター

マンスリーサポーターとして月1000円（1日約30円）の支援を1年続けると

- 家事使用人として働く少女たちのために読み書きの授業を30回行うことができます。
- 家事使用人として働く少女たちの支援センターの約1か月分の家賃になります。



「取り残さない、その小さな声を。」

